

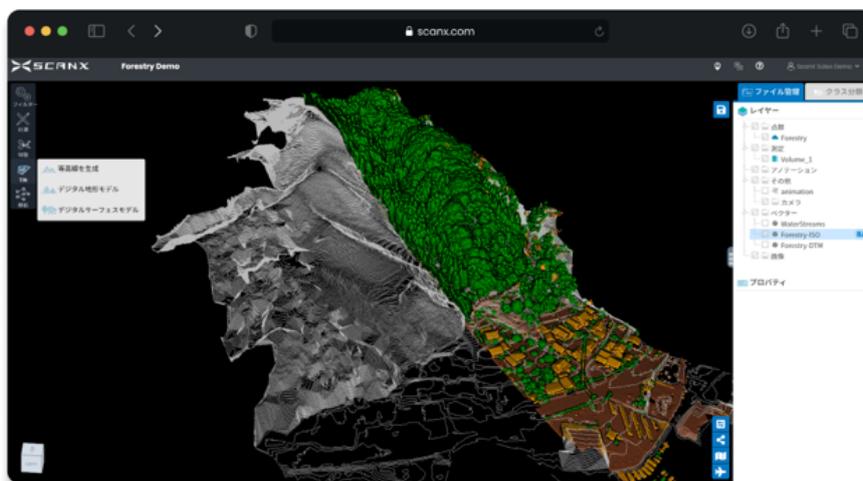
伊藤忠商事とスキャン・エクス業務提携 金属資源分野における鉱山操業のデジタル化に参画

レーザーやLiDARなど各種機器で取得した3D点群データをオンラインで高精度なクラス分類・解析が出来るソフト「スキャン・エクスクラウド」を提供するスキャン・エクス株式会社（本社：東京都新宿区、代表：宮谷聡、ホン・トラン）は、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、社長COO：石井敬太、以下伊藤忠商事）と業務提携しました。伊藤忠商事が推進する金属資源分野における鉱山操業の効率化、安全性向上等を目的としたデジタル化（DX化）において、「スキャン・エクスクラウド」が採掘現場のモニタリング効率化や精度向上による安全性改善に貢献します。

本業務提携により、「スキャン・エクスクラウド」で、鉱山で取得した3D点群データの自動フィルタリング、採掘計画と現況比較による進捗管理、採掘鉱物の土量計測、作業車両接触事故防止のための業務用道路の安全解析などを行う予定です。

「スキャン・エクスクラウド」は、高度なクラス分類機能によってノイズ除去、地表面抽出を自動処理し、3D点群データを素早く解析出来ます。等高線やTINを簡単に生成、設計データとの比較、結果共有リンク発行までを一気通貫で実行可能です。必要なのはインターネットとブラウザだけで、複数現場のデータを複数ユーザーで同時に処理出来、作業時間の効率化も図れます。

また、ニーズに応じた高度な解析にも対応しており、水流シミュレーションや樹木セグメンテーション、BIM/CADモデル作成など、3D点群データの活用が進む様々な産業に向けた開発も行なっています。



「スキャン・エクスクラウド」点群処理画面

会社概要

スキャン・エクス(株)は、海外スタートアップで働いていた日本人とオーストラリア人が偶然出会い、2019年に設立したスタートアップです。世界中の鉱山、建設現場、オイル・プラントを3Dデータ化してきた私たちは、各種機器で取得した3D点群データをオンラインで高精度なクラス分類・解析が出来るソフト「スキャン・エクスクラウド」（1ライセンス月額29,800円（税込））を提供しています。スマートシティ推進にあたって、国土交通省もデジタルツインの実現化を目指すなど、3D点群データの活用はますます期待されています。産業別の高度な点群解析など、ご要望に応じた解析も行っています。

少子高齢化やコロナ禍のニューノーマルに合わせて建設現場の働き方も変化していくため、「スキャン・エクスクラウド」は利用者の皆様からの声を反映し、進化していきます。ソフトを提供する側と利用する側ではなく、利用者の皆様と共に、3D点群データの活用の幅が広がるよう取り組んでいます。

社 名：スキャン・エックス株式会社
設 立：2019年10月
本 社：東京都新宿区
支 社：オーストラリア・ブリスベン
代 表 者：宮谷 聡、ホン・トラン
ホームページ：<https://scanx.com/ja>
T E L：050-1742-3040

<お客様お問い合わせ先>

スキャン・エックス株式会社 ホームページ：<https://scanx.com/ja> TEL：050-1742-3040